

佐倉市立南志津小学校 学校だより



しいの木 9月号

佐倉市立南志津小学校

☎ 489-3884

児童数 296名

令和7年9月1日発行

新たな学校生活のスタートです！

40日を超える長い夏休みも終わり、学校生活がスタートしました。酷暑も手伝って、のんびり過ごした夏休みでしたが、子ども達の元気な姿を見ると、否応なしに気持ちにスイッチが入ります。

私事で恐縮ですが、この夏、甲子園に高校野球観戦に行きました。球場に入ってまず驚いたのは、これだけの酷暑でありながら、3万人を超える人たちが観戦に訪れていたこと。テレビで見ればわかることですが、その大観衆を実際この目で見るとやはり新鮮な驚きでした。日本人の高校野球への関心の高さを改めて実感した瞬間です。

そして何より印象深かったのが、観客からの温かい歓声や拍手です。そもそも、訪れる観客のほとんどは、特定のチームの応援に来ているわけではありません。ですので、その歓声や拍手はどちらのチームに関係なく、球場全体から沸き上がります。特に、敗れてしまったチームに対する「これからがんばれ」と言わんばかりの激励の歓声や拍手は感動的でさえありました。これこそが高校野球の醍醐味であり、同時に日本人としてのアイデンティティを再認識できる瞬間でもありました。



そして今回の甲子園大会には、千葉県代表の市立船橋高校、茨城県代表の明秀日立高校、福岡県代表の西日本短大付属高校に、それぞれ南志津小学校の卒業生がメンバーとして出場しており、加えて千葉県大会決勝で市立船橋高校と熱戦を繰り広げた八千代松陰高校にも南志津小学校の卒業生がいたとのこと。そしてその4人とも、小学校2年生時は、現在、しいの木4組担任の野村先生のクラスだったというから驚きです。その話を伺い、なんだか誇らしい気持ちにもなりました。

7月18日、夏休み前の全校集会で、「人への優しさ」について話しました。「みんなのこれからの長い人生、人に優しさを分けてあげながら実りある人生を送ってください。」という話です。子どもは子ども。友達とすれ違ってしまったり、知らず知らずのうちに相手を傷つけてしまったりすることもあるでしょう。でも、そんな失敗も繰り返しながら、少しずつ「心優しい人」として成長できるよう子ども達を見守っていきたいと思っています。9月からの学校生活、保護者の皆様にも変わらぬご理解ご協力賜りますようお願い申し上げます。